

令和5年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

【第二学年】

・全ての内容・領域で目標値を上回り、「聞くこと」「書くこと」の順で正答率が高かった。日々の授業の中で、リスニング、小テスト、パフォーマンステストを継続して行った結果、生徒の力を総合的に伸ばすことにつながった。

【第三学年】

・全ての内容・領域で目標値を上回り、「書くこと」「聞くこと」の順で正答率が高かった。これは、英語で行う授業や学習内容をパフォーマンステストで「書く」ことから「話す」活動へつなげたことが結果につながった。

(2) 課題

【第一学年】

- ・聞く力を養うために、授業中の聞き取り練習および言語活動を充実させる必要がある。
- ・知識、技能を定着させるために、音と文字をつなげて考えさせる必要がある。

【第二学年】

- ・テーマに沿った英作文練習を繰り返し行うことで、英語を使って表現する力を高めさせる。
- ・実際のコミュニケーションにおいて活用できる能力を育成するために、スピーキング活動をルーティーン化する。

【第三学年】

- ・「話す」力につなげるために、準備した発表と同時に「発表のやりとり」の活動を充実させる。
- ・様々な英文や長文を読んで、概要把握、スラッシュ読みなど、工夫した読み方を身に付けさせる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	全ての内容で目標値を上回った。		
第2学年	全ての内容で目標値、区、学年平均正答率を上回っている。	(第1学年時) 全ての内容で目標値、区、学年平均正答率を上回っている。 「主体的に学習に取り組む態度」が目標値を下回っていた。	
第3学年	全ての内容で目標値、区、学年平均正答率を上回っている。前年度より0.5ポイント上回った。	(第2学年時) 全ての内容で目標値、区、学年平均正答率を上回っている。前年度より0.2ポイント上回った。	(第1学年時) ほぼ全ての内容で目標値を上回っている。 「主体的に学習に取り組む態度」が目標値を下回っていた。

(2) 分析 (観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文字と音をリンクさせて単語を学習し、自然な発音を覚える。 ・単語や新出文法の反復練習を行い、定着を図る。	聞く力を付けるために、聞く活動、言語活動の機会を増やし、教師の発話の英語使用割合を高める。	・ペアワーク、グループワークを1授業に1回以上盛り込み、英語を話すことへの抵抗感を減らし、進んで話せる環境をつくる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対話文を読み、基本的な語形・語法を理解する問題の正答率を高めるために、基本的な内容を継続的にくり返し行っていく。	語彙の知識・理解がさらに深まるよう、英語を読んだり書いたりすることで多くの語彙を学習していく。	テーマに沿って3文以上で書く問題については、自分の得意なことについて、まとめた内容で相手に伝わるように書くことができた。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語形・語法の理解や、単語を正しく書く問題の正答率を更に高めるために、帯び活動を利用して。文の構造の定着をはかりたい。	場面に応じて書く英作文、記述式のリスニング問題も正答率が高く、成果が表れた。今後もバランスよく技能を伸長させるため、引き続き言語活動を充実させていく。	習熟度別少人数指導を充実をはかり、個に応じた指導をすることで、自信をもって英語を活用できるようにする。